



# 広報 しばた



## 心待ちにしたプール 準備OK

今年3月に完成した東船岡小学校の新しいプール。

プール開きを前に、子どもたちがプールの清掃を行いました。

新しく、そして自分たちの手でピカピカにしたプールでこの夏は気持ちよく水泳の授業を受けられそうです。

【6月1日(火) 東船岡小学校】

## 特集 1

# 防災行政無線 デジタル化へ



問総務課 Tel55-2111

### 防災行政無線の デジタル化

防災行政無線の運用は、「電波法」という法律に基づいて行われています。この電波法の関係法令が改正され、令和4年11月30日をもって、現在のアナログ方式の防災行政無線が使用できなくなりました。

そこで、アナログ方式の防災行政無線を使用している自治体では、デジタル化が進められています。柴田町でも令和2年6月から防災行政無線のデジタル化に着手し、令和3年7月より運用を開始しました。

### 防災行政無線が 持つ役割

東日本大震災や、令和元年台風第19号による水害など、近年多発する自然災害の発災時において、情報を

正確に素早く取得することは命を守るために重要な要素となります。また、情報の発信方法が多いほど、皆さんが情報を取得しやすくなります。メディアやインターネット、町からのメールやLINE配信に加え、今後は防災行政無線によって防災・災害情報を町民の皆さんへいち早く正確にお届けしていきます。

### デジタル化に伴う 機能向上

#### ①電波の受信範囲が拡大

アナログ方式と比較し、デジタル方式の電波は直進性が高く、広範囲に電波が届きやすくなることから、行政区長や消防団に配備されている携帯無線機の通信性能が改善されます。

#### ②屋外拡声子局（スピーカー）の一斉放送が可能に

町内に17カ所設置されて

いる屋外拡声子局は、これまで、設置されている現地に行かなければ放送することができませんでした。今後は、役場から遠隔で、新設した役場庁舎と柴田町太陽の村を加えた19カ所から一斉に放送することが可能になります。

#### ③放送音声の品質向上

デジタル方式は、アナログ方式より電波の伝送速度が速く、音質が良くなります。さらに、機械による音声合成で放送しますので、放送内容が聞き取りやすくなります。

#### ④防災ラジオ（戸別受信機）の運用を開始

今回の防災行政無線のデジタル化に合わせ、災害関連情報の取得手段の一つとして防災ラジオを75歳以上の単身世帯の方などへ無償で貸与します。

## 防災ラジオ(戸別受信機)の導入

### ○防災ラジオとは

避難指示、避難所開設などの情報や、台風の接近など本町に被害の恐れがある気象情報、また、災害時の給水情報などを放送します。町が情報を発信したときには防災ラジオの電源が自動的に入り、放送が流れます。普段はAM・FMラジオとしても使用できますが、情報配信時には自動で放送が切り替わります。

地震速報など、国から緊急情報が発信された際は、即時に大音量で音声流れます。災害情報は自動で録音されるため、聞き取れなかった場合も繰り返し聞くことができます。

### ○防災ラジオの無償貸与

町では、防災ラジオを令和2年度に約1,000台導入しました。



75歳以上の単身世帯の方や身体障害者手帳(肢体不自由)1級から3級の交付を受けている方がいる世帯に対し、4月に町内34カ所で防災ラジオの説明会を実施しました。

対象者には3月に申請書類をお送りしていますので、貸与を希望される方は総務課までご連絡ください。

また、防災ラジオは社会福祉施設や優先避難所など32カ所にも設置しています。今後は自主防災組織や民生委員など、地域の支援者にも貸与していけるように検討します。

## 屋外拡声子局位置図



No.	設置施設
1	役場庁舎
2	柴田町太陽の村
3	北船岡コミュニティ消防センター
4	土手内コミュニティ消防センター
5	第24班コミュニティ消防センター
6	上名生コミュニティ消防センター
7	中名生コミュニティ消防センター
8	下名生児童遊園
9	船迫中学校
10	白幡集会所
11	剣水集会所
12	四日市場沖コミュニティ消防センター
13	三ヶ屋敷コミュニティ消防センター
14	船迫コミュニティ消防センター
15	成田コミュニティ消防センター
16	海老穴コミュニティ消防センター
17	農村環境改善センター
18	入間田コミュニティ消防センター
19	富沢集会所



屋外拡声子局 (下名生児童遊園)

# 避難情報が変わりました

**警戒レベル4「避難指示」で必ず避難してください**

災害対策基本法の一部改正により、5月20日から、災害の危険性が高まった場合などに町が発令する避難情報が変更されました。

これまで避難指示と避難勧告に分かれていたものが、避難指示に一本化されました。

警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員避難してください。

このような避難に関する情報は、屋外拡声子局や防災ラジオを用いて迅速に配信します。



<p>警戒レベル5は、 すでに安全な避難ができず 命が危険な状況です。 <b>警戒レベル5緊急安全確保の 発令を待ってはいけません！</b></p>	<p><b>警戒レベル4避難指示で 危険な場所から全員避難 しましょう。</b></p>	<p>避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人は、 <b>警戒レベル3高齢者等避難で 危険な場所から避難 しましょう。</b></p>
--	--	---

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 <small>災害発生 又は切迫</small>	<small>きんぎゅうあんぜんかくほ</small> <b>緊急安全確保</b>	<b>災害発生情報</b> <small>(発生を確認したときに発令)</small>
～～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～～			
4	 <small>災害の おそれ高い</small>	<small>ひなんしじ</small> <b>避難指示</b>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 <small>災害の おそれあり</small>	<small>こうれいしゃとうひなん</small> <b>高齢者等避難</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 <small>気象状況悪化</small>	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 <small>今後気象状況 悪化のおそれ</small>	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

# 災害時の避難について

避難所には多くの人が避難する可能性があり、新型コロナウイルスの感染リスクが高まることが予想されます。

事前に住まいの安全状況を確認し、安全な場所にいる場合はその場所で待機しましょう。

また、親戚や知人宅への避難、無理のない範囲での車中避難など、感染リスクを避けることも考慮した避難も検討しましょう。

在宅避難が出来ない場合などは、迷わず避難所へ避難してください。

## ①事前に防災マップを確認

想定される災害を把握



令和2年2月に全戸配付した「防災マップ」

## ②避難する場所を選択



## 事前の心得

- 1日分の水や食料・毛布（生活必需品）、マスク・消毒液・体温計、服薬している薬、お薬手帳などを準備
- 避難所へ避難する際はマスクを着用
- 避難情報などを基に、早期に避難

## ③避難場所での感染症対策

手洗い・消毒・マスク等の徹底



3密（密閉・密接・密集）を避ける



## 感染予防策

- 避難所で配布する「体調チェック表」で健康状態を確認する
- 避難者同士の距離を確保する
- 居住スペース以外で食事をとらない（飛沫感染・接触感染予防）
- ゴミは家族で管理し密閉して廃棄

## 防災情報の配信サービスへのご登録をお願いします

町では、メールやLINEを使用して災害情報や避難情報などを皆さんへお知らせする情報配信サービスを行っています。

○柴田町LINE公式アカウント

柴田町LINE公式  
アカウント登録  
二次元コード



○柴田町メール配信サービス

柴田町メール配  
信サービス登録  
二次元コード





# SHIBATALK

## —シバタルク—



歩くこと。年齢や性別に関係なく誰もが気軽に取り組める最も基本的な運動です。

柴田町はフットパスや里山ハイキングなどのコース整備やボランティアの育成を図るなど、さまざまな事業を通じて歩くことが盛んなまちになってきました。

また、ノルディックウォーキングを楽しむ町民の方も多くいらつしやるなど、歩くことへの関心が高い町といえます。

「歩くことの魅力」をさらに多くの方に知ってもらい、まち中や里山を歩いたことのない方には歩くことのきっかけにしてもらおうと、7月から「歩く」ための情報を一つにまとめたホームページ「SHIBATALK—シバタルク—」がスタートしました。

コロナ禍により、室内で過ごすことが多くなった昨今、自然や歴史に触れながら歩くことは、心と体の健

康にもつながります。さあ、シバタルクで一歩外に踏み出そう。

### シバタルクの「コ」がすごい

#### スマートフォンを使って快適なまち歩き

シバタルクで公開しているフットパスや里山ハイキングのコースは、地図アプリと連動しているため、スマートフォンに表示された地図からルートを確認できます。



また、GPSで現在地を確認することができ、随所にコースの説明も掲載しているため、初めて歩くコースでも迷わず楽しく歩くことができます。

#### SHIBATALK公式 YouTubeチャンネルで「コース紹介

公式チャンネルでは、写真だけでは伝わらない、コースや歩くことの魅力、動画で紹介していきます。動画は順次追加を予定していますので、ぜひご覧ください。



### 歩いたら「歩LOG」を投稿してみよう

「歩LOG」では、皆さんが歩いたときに何か気づいたり、感じたりしたことを、自由に発信し、共有することができます。

「この素晴らしい景色を多くの人に知ってもらいたい」、「この時期だけ珍しい風景が見れる」など、自分だけの情報を書き込んでみましょう。他の人が書き込んだ内容も自由に見ることができるので、歩く時の参考にもなります。





問 生涯学習課 Tel.55-2135



### 3つのジャンルに分けて歩くを紹介

シバタルクでは、さまざまな歩くを紹介しています。あなたのスタイルに合った歩くがきつと見つかります。



楽しく歩く

誰かと一緒に歩くと思議と楽しい気分になりやすい。四季を通じて、素敵な景色や出会いがあるのを待っています。

### フットパスウォーク

風景や自然を楽しみ、交流しながら歩く、全16コースのウォーキングイベント。年間を通して開催しています。

### あぶらウォーク

阿武隈急行線の各駅をスタート地点に、季節や地域のイベントなど、「旬」に合わせて開催するウォーキングイベントです。



感じて歩く

歴史に思いをはせながら、幾人もの人が歩いてきた道を歩くと、きつと何かを感じるができます。

### 船岡歴史ウォーク

船岡城址公園や城下町の名残を残すまち中を歩き、歴史や名所について知って感じるツアー。しばた歴史観光ガイドによる説明も好評です。

### 四季の里山ハイキング

美しい田園風景や里山などの自然を満喫できるハイキングツアー。四季を感じられるよう通年で開催しています。



健やかに歩く

歩くことは、生きていく上で切り離せないものです。元気に歩くをいつまでも。

### みんなで歩こうね

仙台大学スタッフによるウォーキングに関する講話や指導で正しい歩き方を学ぶ講座です。ウォーキングを日常にするきっかけに最適です。

### ノルディックウォーキング体験会

通常のウォーキングより疲労を感じることが少なく、足腰に不安がある方にはぜひおススメ。まずは体験してみてください。



### SHIBATALK ホームページ

パソコンからは「シバタルク」で検索してください。

スマートフォンからは下記の二次元コードを読み取ってください。



### 直近の歩くイベント

親子で里山ハイキング(太陽の村・いこいの森)

日 8月7日(土) 9:00~

人 10組(先着順)

費 2000円(保険料など)

申 7月30日(金)まで電話

で槻木生涯学習センターへ (Tel.56-1997)

フットパスウォーク(曼珠沙華咲き誇る花と河の道コース)

日 9月21日(火) ※予定

人 20人(先着順)

費 5000円(マップ代など)

※詳細については、開催前にお知らせ版に掲載します。

# 官民連携による (仮称)柴田町総合体育館の建設

民間活力(P P P手法等)の導入を検討

☎ スポーツ振興課 TEL87-8706 Eメール:sports@town.shibata.miyagi.jp

町では、(仮称)柴田町総合体育館の建設に向け、整備手法の検討を始めています。

町が建物の設計業務や建設工事を発注し、建物の維持管理や運営までを行う従来の手法と、民間事業者が町と連携して建物を建設し、公共サービスを提供する『PPP』手法等を比較検討するものです。

このPPPとは、パブリック・プライベート・パートナーシップの略で、官民連携と呼ばれています。町と連携するパートナー(民間事業者)は、町が求める業務に対して、優れた企画を提案してきた民間事業者が選ばれます。

## 官民連携の目的

人口減少や高齢化が進み、公共施設等の老朽化問題も深刻化する中、地方自治体は持続可能なまちづくりが求められています。

## PPP (官民連携) 手法の例

方式	内容
PFI方式 (Private Finance Initiative)	公共施設を整備するにあたり、民間事業者が特定目的会社を設立し、資金調達、設計、建設、維持管理、運営等を行い、町は事業契約を結ぶ方式
BOT方式 (Build Operate Transfer)	民間事業者が、自ら設計、建設した施設を契約期間中所有し続け、維持管理、運営を行い、契約終了後に所有権を町へ移転する方式
BOO方式 (Build Own Operate)	民間事業者が、自ら設計、建設した施設を所有し続け、維持管理、運営を行う方式
BTO方式 (Build Transfer Operate)	民間事業者が、自ら設計、建設した施設の所有権を竣工時に町へ移転し、その後、契約期間中の維持管理、運営を行う方式
リース方式	町が求める施設を民間事業者が整備し、町にリースする方式(維持管理、運営は、町が別途発注する)
定期借地権方式	町が、本事業の事業用地に定期借地権を設定し、民間事業者に一定期間貸付を行い、民間事業者が施設を整備する方式

特に、大規模なプロジェクトを進めていくには、将来の財政負担を軽減しつつ、質の高い住民サービスを提供するよう創意工夫が必要となります。そこで全国的に注目され、実際に国や地方自治体で導入され始めているPPP手法について町に合った形で検討するものです。

## PPP手法のメリット

①財政負担の軽減・平準化  
民間事業者が関係企業間のネットワークを駆使し、自ら建物を設計、建設や維持管理等を行うため、コストの削減が期待できます。また、町にとっては初期費用がかからず、財政負担の平準化が図られます。

②より良いサービスの提供  
体育館の運営面において、民間事業者の専門的知識や柔軟な発想により、質の高いサービスの提供が図られます。また、提案される企画によつては、まち中にぎわいや雇用創出も期待できます。



## 官民連携って、なに？ 町民の方に考えてもらいました

日頃から体育施設を利用している皆さんに対し、官民連携による整備手法について説明し、感想をいただきました。

- ・町でPPPに取り組むこと自体は良いと思う。後はお金の問題なのかなと。
- ・防災機能の提案は、スポーツをしない人にとっても良いと思う。
- ・体育館の所有者が民間企業だと、使用料や使用申込の方法について不安だ。
- ・安くできたとしても、結局安くしたなりの体育館ができてしまうのではないかと心配なので、町はしっかり確認して。
- ・PPP手法を導入しても、細かいところについて必ず意見は出てくると思う。
- ・官民連携の必要性やPPP手法を取り入れて体育館を建設・運営することについては、おおむね理解できた。



照井梨恵さん、古川ひろ子さん、扇勇樹さんに感想をいただきました。ビニールボール（宮城県発祥で、県内で普及・発展してきた屋内スポーツ）を楽しんでいるそうです。

PPP手法は、地方自治体を持つ権限等を、民間事業者に手放すということではありません。目的を達成するために、建築等について、仕様を基に発注していた従来の手法を、目的に沿った形で、性能発注（事業者が果たすべき業務の水準を規定）に変えるものです。これにより、民間事業者は、従来手法に比べて創意工夫の余地が広がりますので、結果として、住民サービスの質の向上につながります。こうした性能発注については、学識経験者等で構成する検討委員会において、協議していきます。

今後も体育館建設に向けた取り組みや状況について、随時、お知らせしていきます。

## 総合体育館建設に係るこれまでの経緯と今後の予定

年月	経緯と今後の予定
平成23年 3月	東日本大震災により、柴田町民体育館が被災し、その後撤去
平成24年10月	株式会社不二トコン跡地を取得
平成27年 3月	「町民が生涯現役でスポーツを楽しめる体育館」等の基本方針を掲げ、体育協会等との意見交換、住民への説明等を行い（仮称）柴田町総合体育館基本構想がまとまる
平成29年11月	（仮称）柴田町総合体育館建設基本計画策定
平成31年 2月	（仮称）柴田町総合体育館建設基本設計策定 柴田町議会から町に対し、民間活力の導入を検討するよう提案されていたことから、国土交通省によるサウンディング（民間企業との意見交換等）に参加
令和 2年11月	（仮称）柴田町総合体育館敷地造成工事完了
令和 3年 5月	令和3年度PPP手法可能性調査業務開始
6月	（仮称）柴田町総合体育館建設検討委員会（PPP手法の検討及び事業者の提案内容の整理等）設置
9月	事業者募集要項の作成、公表
10月～12月	民間事業者からの提案募集
令和 4年 1月	民間事業者の決定
3月	柴田町議会へ従来どおり町が建設・運営する手法案と官民連携手法案を説明し、整備手法の判断をいただく



柴田町長 滝口 茂

コロナ禍の中、三密を避けた新しい生活スタイルの一つとして関心が高まっているのが「歩く旅」です。この「歩く旅」、歩くしかなかった昔の人たちにとつ

ては、お寺や神社への参詣はもとより、世の中の見聞を広めたり、新しい知識や流行などを知る上で、人生最大のエンターテインメントでした。

四国八十八箇所を巡る四国遍路や熊野詣で人々が行き交った熊野古道など、各地には昔の人々が歩いた古道がたくさんあります。江戸時代に書かれた「東海道中膝栗毛」は、まさに旅の楽しさを描いたものでした。

現代の旅は、交通機関を利用するものがほとんどですが、ここに来てNHKのブラタモリをきっかけに、各自自治体における地域活性化策として、「歩く旅」の導入がさまざまな形で検討されるようになっていきます。

「歩く旅」のスタイルはさまざまで、ブラタモリのように、まち中に残る古い地図や遺構地形から当時の町並みの様子や人々の暮らしぶりを想像しながら、知らないことを知るおもしろさを味わえるまち歩きがあります。また、上山市では、健康寿命の延伸やメンタルヘルスの面から、毎日、里山や温泉を巡るクアオルトウォーキングを提唱し、市民の健康

## 歩く旅のおもしろさ

増進を図るとともに、健康に興味のある観光客や企業との連携交流を通じて、地域の活性化につなげようとしています。さらに、三陸の山並みや海岸線などの大自然、その土地の歴史や食などを楽しみながら歩く、東北みちのく潮風トレイルや宮城オルレのコース整備も進んでいます。

柴田町でも、これまで里山ハイキングコースやフットパスコースの整備や、コースマップの作成、さらに歴史観光ボランティアの育成など、「歩く旅」の受け皿づくりに努めてきた結果、おかげさまで少しずつ歩く人が増えてきました。しかし、「歩く旅」への関心は高まってきたばかりですので、これをさらに普及定着させていくためには、新たなしかけが必要です。

まずは、コースの案内板や道標の整備コース周辺の歴史や文化の見どころなどの見える化、また、おいしいものを食べながら地元の人と交流できる体験機会の確保など、できるところから取り組んでまいります。

先人たちが歩いたまち中や里山をのんびりと自分のペースで歩けば爽快であり、新たな発見や出会いにもつながり、心身ともに健康で充実した人生の一助になると思います。

柴田町から「歩く旅」のおもしろさを伝播させてまいりたいと思っています。

## 新しい地域おこし協力隊を紹介します

柴田町地域おこし協力隊に、5月から新たな隊員が着任しました。現在、町内で活動している地域おこし協力隊は3人になります。

問まちづくり政策課 TEL54-2111

小中高時代を柴田町で過ごし、その後、東京や横浜、仙台で生活をしてきましたが、コロナ禍によって普及してきたテレワークや多拠点生活に新たな可能性を感じ、Uターンで柴田町に戻ってきました。

柴田町の周辺には海や山、川があり、仙台都市圏からもアクセスしやすいなど、立地の良さに魅力を感じています。地元を離れたことで改めて感じた柴田町の良さを地域の皆さまや、これから移住を考えている方々に向けて発信をしていきたいと思っています。将来的には町内でアウトドアのセレクトショップを開業し、コロナ禍の中でも安全に楽しめるアウトドアイベントなどの企画もしていきたいと思っています。ぜひ皆さんと一緒に活気あふれるまちづくりのお力になればと思います。

前職では外資系の企業でパソコンやスマートフォンなどのトレーナーを16年間していました。これらのスキルも皆さんのために役立てられればと思っておりますので、ぜひ気軽にお声掛けください。

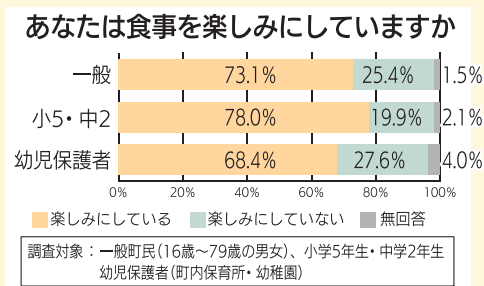


吉田 謙治 さん (45歳)



## 第80回のテーマは、 「おいしく楽しい食事のために」です。

柴田町では、第3期柴田町食育推進計画に基づいた食育を行っています。その成果と課題を把握するために行った「柴田町食育に関するアンケート調査」では、4人に1人が「食事を楽しみにしていない」と回答しました。その理由として、食に興味がない、準備をするのが面倒という意見が多く見られています。



### 食事を楽しむメリット

食事は単に栄養を取るだけでなく、心身の健康やコミュニケーションの手段として大切な役割を担います。「食事を楽しむ」ことは、これらに大きく関係しています。

#### 気持ちが明るくなる(心の健康)

- ・おいしく食事を食べられる
- ・幸福感が感じられる
- ・ストレス解消につながる



#### からだ元気になる(からだの健康)

- ・食に興味湧く
- ・食事内容が充実する
- ・バランスの良い食生活になる



#### 誰かと食べるともっとおいしくなる(コミュニケーション)

- ・食事のマナーが身につく
- ・楽しい会話で食事がおいしくなる

### おいしく楽しい食事の工夫

#### 準備するのが面倒

- 調理方法を工夫してみましょ
- 冷凍食品や電子レンジの時短レシピを活用してみましょ

#### 食に興味がない

- イベントや季節の行事で食事を楽しむ  
お正月のおせち料理、ひなまつりやクリスマスなどのイベントで食事を楽しんでみましょ
- 食事のお手伝いで食への興味アップ  
食材に触れることで、食への関心を持つことができます
- 五感で楽しむ  
彩りや香りをよくすると食欲が出ます

#### 栄養士からのアドバイス

健康な心とからだを育むためには、毎日の食事がかせません。イベントなどをきっかけにして、負担なくチャレンジしやすいものから始めてみましょ。きっと毎日の食事が楽しくなりますよ。

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

広 告

広 告

# まちかど NEWS



公園内には4,000株もの紫陽花が咲いています。



紫陽花をより楽しんでいただけるように、アジサイ谷に園路を整備しました。(写真：6月上旬)

## 2年ぶりに紫陽花まつりが開幕

6月18日(金)から船岡城址公園で、第8回しばた紫陽花まつりが開幕しました。新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの開催となった紫陽花まつり。今年は大きなイベントは行わず、紫陽花をゆっくり楽しんでいただくお祭りになっています。紫陽花まつりは7月4日(日)まで行われています。マスクの着用など、感染症対策の上、涼しげな紫陽花に彩られた初夏の船岡城址公園にぜひお越しください。

## 100歳おめでとうございます

第二常盤園(海老穴地区)に入所されている佐藤みつこさんが、5月22日(土)にめでたく100歳を迎えられました。

山元町出身の佐藤さんは、昭和17年にご結婚され、3人のお子さんを育ててきました。旅行がお好きで、若い頃はご近所の方と出掛けることが楽しみだったそうです。

好き嫌いなく三食しっかりと食べ、日々健やかに過ごされている佐藤さん。これからもお体を大切に、いつまでも元気でいらしてください。



編み物が得意で、帽子やセーターを編んでいたという佐藤さん。

広 告

広 告

## 4区集会所を花でいっぱい



植栽されたベゴニアは、秋まで集会所を鮮やかに彩ります。

6月6日(日)、第4行政区の皆さんが、集会所に花を植栽する花いっぱい運動を行いました。毎年春と秋に行われる恒例行事で、植栽のほか集会所まわりの植木の剪定や除草なども一緒に行っています。

参加された方は、「コロナ禍の影響で、外に出て話をしたり体を動かす機会が少なくなってきたので、みんなと一緒に活動ができて楽しかったです」と話していました。

## 柴田小学校地域校歌めぐり

6月9日(水)、学校の校歌に歌われている雨乞のイチョウ、白山神社、羽山神社の3カ所を実際に見て学ぶ校外学習が行われました。

3年生の児童らは地域の方からの説明を受け、学区内の歴史や天然記念物について理解を深めていました。

田沼賢成君は、「雨乞のイチョウは大きくて、ぎんなんがならないことがわかりました」と感想を話してくれました。



雨乞のイチョウの大きさに驚いていました。



夢中になってボールを追いかけていました。

## 元気いっぱいボールを追いかけてました

6月15日(火)、槻木保育所で3歳児と5歳児を対象とした宮城県サッカー協会による巡回サッカー教室が行われました。

5歳児の子どもたちは、今年2回目のサッカー教室となります。コーチからサッカーボールの蹴り方などを教わると、器用にドリブルをしたり、しっかりとシュートを打てるようにもなりました。

日下稜太ちゃんは、「転んだりしたけれど、とても楽しかったです」と話してくれました。

告 告

告 告



こうほう 文芸

短歌

コロナ禍の自粛生活じつと耐え  
ワクチン接種に心やすらぐ  
ひたすらにワクチン電話かけ続け  
何も手つかずどつと疲れが  
タケノコの皮に盛る飯思い出す  
旅にあらねど万葉しのぶ  
水溜まりジャブジャブ靴の孫と友  
雨が上がった学校帰り  
家の中書き物していると猫が寄る  
いたずらだとは思わないのか

西船迫 安ヶ平良三  
船岡 可沼 妙子  
西船迫 下浦 智子  
四日市場 島井崎  
本船迫 森田 眞六

新緑のうららか気分陽が誘う  
見渡す山はおぼろに霞む  
我八十路出会いし人も数多し  
会いたし友は笑みて黄泉へと  
ニミリ程の小さき虫が側に来て  
じつと動かず「だいじょうぶですよ」  
コロナ禍で娘に先立たれし我が友に  
かける言葉みつからぬ我

梶木 白石 光子  
船岡 伊藤タイ子  
船岡 沢田 順子  
船岡 大庭 とみ

川柳

ビニール傘光る雨粒傘立てに  
情けない16ドットの文字になる  
話相手いれば頭もフル回転  
夏野菜私が主役とナスきゅうり  
モコモコとスギナが芽を出す音がする

西船迫 H・G  
四日市場 島井崎  
船岡 阿部美代子  
北船岡 日下 功  
船岡 小林 夢子

散歩中体力なくて追い越され  
一人居て老いる淋しき友も亡き  
猫ひたい土と遊んでトマト植え  
揺れつづき起き上がり小法師うしろ向く

西船迫 安ヶ平良三  
梶木 加藤 マサ  
梶木 加藤 節子  
梶木 村上 紫寿

俳句

五月雨を浴びて緑は清らかに  
五月雨蔵王の山は雲の中  
菖蒲湯や婆も菖蒲で鉢巻す  
神木にならむと上る大噴水  
容赦なく病葉打つや男梅雨  
風に膨るる山梔子の香りかな  
みちのくの奥へ分け入る梅雨の蝶

梶木 平間 三郎  
船岡 可沼 妙子  
西船迫 佐藤 厚子  
鎌形 清司  
齋藤 善則  
鈴木 三山

捨てがたき縞のYシャツ秋思かな  
削り氷や匙に映りし逆さ顔  
蝕癒えし日輪の空夏つばめ  
夏の風炎昼すごす友と居り  
夏めくや稲穂の緑秋の糧  
コロナ禍よ籠もりし螢袋かな  
カササギの群七夕の見ゆ橋

船岡 鈴木 清子  
西船迫 安ヶ平奈津枝  
西船迫 飛鳥  
船岡 安藤 節子  
吉田 啓子  
梶木 鈴木 幸子  
船岡 峠 三枝子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで7月13日(火)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

## 我が校の ICT 教育

本校では、生徒一人1台のタブレット端末と、各教室に1台の電子黒板を用いて、新しい学習指導要領に掲げられている「知識および技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を伸ばすため、より効果的な ICT 機器の活用を目指し実践を重ねています。

### 1 電子黒板を活用した学習指導

電子黒板では、写真や図を拡大することができます。そのことを利用して、注目させたいところに、生徒の関心を向けさせるとともに、新たな気付きや疑問を学習指導に生かす工夫をしています。

また、音声を流すこともできるため、特に英語では目と耳の両方からの情報を関連付けて考えることの習慣化が期待できます。



画面の内容を英語で解説する動画を視聴しています

### 2 動画の視聴や録画再生を通して、技能の向上を図る指導

体育や技術・家庭、美術など、実技を伴う教科では、実技の動画を繰り返し視聴することで、効率的な技能の習得につなげています。

また、タブレットで生徒が互いのフォームを録画することで違いに気づいたり、どのように修正すると良いかを議論するきっかけにもなっています。



体育では動画で動き方を学べます

### 3 関連事項の検索を通して、学習への興味・関心を高める指導

総合的な学習の時間では、キャリア教育の一環として職業や上級学校について調べています。従来はコンピュータ室を利用しクラス単位で調べ学習をしていましたが、自分の端末を使うことで全員が同時に情報を得ることができます。

また、教科書には学習をサポートするコンテンツを利用できる二次元コードが備わっており、それを活用して学習への興味・関心を高める工夫を重ねていきます。



パソコンから情報を得ながら授業を受けています

ICT 機器は、全校集会に代わる新しい形態の集会を可能にしたり、小学校と交流するためのツールとしても役立ったりしています。今後も他校のさまざまな事例からも学び、実践に取り入れていきたいと考えています。また、情報モラルやセキュリティについての注意喚起も適宜行い、ICT 教育を進めてまいります。

〔船岡中学校長 茂木 悟〕



柴田町  
フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介!

まちづくり政策課 Tel.54-2111



柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。  
二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

まちづくり政策課 Tel.54-2111



## お客さまからいただく 感謝の言葉がやりがいです

株式会社白石ハウビング

佐藤 義和さん（36歳・写真左）  
加茂 達也さん（35歳・写真右）

今回は、リフォーム・上下水道工事から、トイレやキッチンの水回りの改修、ガスや灯油の販売などを幅広く手掛ける株式会社白石ハウビングの佐藤義和さんと加茂達也さんを紹介いたします。



マルキプロパン  
**Marui Gas**  
白石ハウビング  
EL 0224-55-1457

今年で入社5年目を迎えた佐藤さんと加茂さん。担当業務について佐藤さんは、「ご家庭などへの灯油の配送と、ガス設備の保安点検を担当しています。ガス設備は4年に一度、ガス漏れなどが発生していないか定期保安点検が必要になります。器具などに交換の必要があれば、その場で作業を行います」と話し、加茂さんは、「住宅の新築やリフォーム工事での、給排水設備の施工を行っています。また、学校や公共施設の改修工事を手掛けることもありま

す」と話します。仕事で印象に残っていることを伺うと、佐藤さんは、「お客さまの中には、私よりガス器具についての知識がある方もいらつしゃって、もっと勉強しなければと刺激を受けることがあります」、加茂さんは、「小学校で工事をしていた時に、子どもたちからありがとうと声

を掛けてもらったことがとてもうれしかったです」と話してくれました。今後の目標について佐藤さんは、「ガス器具の新設などの作業に必要な国家資格の取得を目指しています。今は、ガスを新設するときなどには資格のある先輩に同行してもらわなければなりません。資格を取得し、ガス関係の仕事は自分で完結できるようになりたいです」と話し、加茂さんは、「早く自分に任せておけば大丈夫と思ってもらえる職人になることです。そのために社内先輩だけではなく、現場で共に作業する他社の職人さんの技術を吸収することを心掛けています。」と話してくれました。

常々お客さまとは会社の顔として接することを心掛けているというお二人。これからもお客さまへの思いやりを大切に頑張ってください。



ガス器具の交換を行う佐藤さん。



キッチンの給排水器具を接続する加茂さん。



株式会社白石ハウビング  
柴田町大字船岡字若葉町4-15  
TEL 55-1457

昭和48年設立。上下水道工事、住宅のリフォーム、LPガスや灯油の販売などを幅広く手掛ける。従業員30人

人口と世帯数  
(令和3年6月1日現在)



37,473人  
(前月比19人増)



18,717人  
(前月比10人増)



18,756人  
(前月比9人増)



16,177世帯  
(前月比19世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。